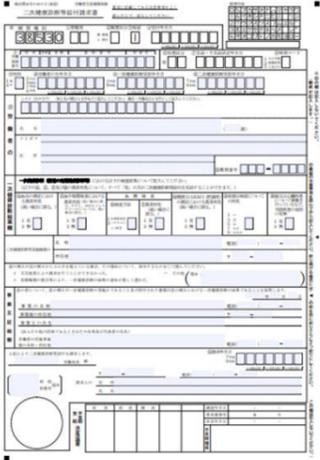




二次健康診断受けよう運動 (企業の二次健康診断費用の補助負担の取組)

会社負担制度の有無の割合は、当協会の二次健康診断実施状況アンケート回答企業の中の検診検査実施項目別の企業割合です。(アンケートはまだ継続中)

	健康診断の種類と検査項目	検査診断の概要(費用目安)	会社支援策(費用負担)(有給措置)
健康診	定期健康診断 雇入健康診断	<ul style="list-style-type: none"> 定期健康診断 6,050 円～6,380 円程度 雇入健康診断 6,050 円～6,380 円程度 随時 1 名から申込可 50 人以上健診バスあり	<ul style="list-style-type: none"> 会社全額負担 就業時間中に実施
	定期健康診断後の会社の指示による精密検査 会社負担あり 66.7% 会社負担なし 11.1% 不明 22.2%	<ul style="list-style-type: none"> 定期健康診断後の会社の指示による精密検査 医師の所見で求められる再検査項目 	<ul style="list-style-type: none"> 全額会社負担 上限 4 万円/検査月まで全額会社負担 上限 2 万円/年まで全額会社負担 全額労働者自己負担 工場内診療所受診の場合、保険診療は、自己負担割合が 2 割、8 割が会社負担。一般医療機関受診の場合は 3 割が労働者自己負担、7 割が会社負担
	メタボ二次健康診断 (1) 血圧検査 (2) 血中脂質検査 (3) 血糖検査 (4) 腹囲の検査または BMI(肥満度)の測定 以上のすべてに「異常の所見」があると診断された人及び産業医等の所見がある方が労災保険の二次健康診断給付の対象です。	○労災保険給付を受けない場合の費用 全項目受けて 25,000 円～30,000 円程度 検査項目 (1) 空腹時血中脂質検査 (2) 空腹時血糖値検査 (3) ヘモグロビン a1c 検査 (4) 負荷心電図検査 胸部超音波検査(心エコー検査) (5) 頸部超音波検査(頸部エコー検査) (6) 微量アルブミン尿検査	<ul style="list-style-type: none"> 労災保険二次健診受診手続き支援 県内で 800 件～1200 件ほど給付実績です。 労災保険給付の要件を満たさない場合でも産業医など健診機関以外の医師の証明で労災保険二次健診を受け給付を貰うことが出来ます。 (請求様式裏面の証明欄に記載する) (地域産業保健センターで医師紹介) 会社負担で実施する場合は、全項目受けて 25,000 円～30,000 円程度の負担になります。 
	胃カメラ検査 会社負担あり 55.5% 会社負担なし 11.1 不明 33.3%	<ul style="list-style-type: none"> 毎年、定期健康診断において実施 50 歳以上は、隔年で、定期健康診断において実施 人間ドックで実施 実施に対象年齢あり 希望者が実施 	<ul style="list-style-type: none"> 労働者自己負担なし、費用は全額会社が補助 鎮静剤は自己負担の場合があるが、それ以外は 人間ドックで実施する場合は、3 割が労働者自己負担、7 割が会社負担 実施対象年齢者が検査を受ける場合は、全額会社が負担 希望者が実施する場合は、全額自己負担
	胃バリウム検査 前立腺がん検診 大腸がん検診 腹部超音波検査	<ul style="list-style-type: none"> 腹部超音波検査は、実施対象年齢あり 	<ul style="list-style-type: none"> 胃バリウム検査は、労働者自己負担なし、会社は一部負担 前立腺がん検診 大腸がん検診 腹部超音波検査を対象者が受ける場合は、全額会社が負担
	胃がんの ABC 検査	ABC 検診は血液検査だけで、将来の胃がんの罹患リスクを判定できる検査	<ul style="list-style-type: none"> ABC 検査は、労働者自己負担なし、会社は一部負担
	胸部 CT 検査	<ul style="list-style-type: none"> 胸部レントゲン検査結果が異常あり場合 対象年齢により実施 	<ul style="list-style-type: none"> 胸部レントゲン検査結果が異常あり場合は、全額会社負担 対象年齢による胸部 CT 検査は、全額会社負担
	心臓超音波検査 ホルター心電図検査	<ul style="list-style-type: none"> 	<ul style="list-style-type: none"> 心臓超音波検査は、負担なし費用全額補助 負担なし費用全額補助
	人間ドック 会社負担あり 66.7% 会社負担なし 11.1% 不明 22.2% 脳ドック 会社負担あり 22.2% 会社負担なし 不明 77.8%	人間ドック <ul style="list-style-type: none"> 日帰りコース(健診内容が多様) 35,200 円～40,700 円～55,000 円程度 1泊2日コース(健診内容が多様) 55,000 円～70,400 円程度 脳ドッグ 47,300 円程度	<ul style="list-style-type: none"> 男性 25,000 円、女性 28,000 円助成 35 歳以上の希望者は自己負担 1 万円(2 回目以降は 1.5 万円)で、3 年毎に、1 日コース or 1 日コース+脳ドックが受診可。 1.5 日コース+脳ドックのプランへの補助もあり 全額負担(40,45,50,55,60 歳時毎)(対象年齢あり) 48 歳と 51 歳以上は自己負担 10000 円で受診可能 年齢を限定し残り 3 割を会社負担 25 歳以上 7 割負担 男性 13,300 円、女性 19,000 円補助 脳ドックは 30 歳以上 7 割負担 全額負担(対象年齢あり)
がん検査	PET 検診 FDG(放射性フッ素を付加したブドウ糖)など放射性材を使って行うがん検査 会社負担あり 90.0% 会社負担なし 10.0	<ul style="list-style-type: none"> 年齢階級ごとに実施回数、費用補助率を変えて実施 対象は 50 歳以上、または 45 歳以上で喫煙歴がある者。 	<ul style="list-style-type: none"> 20,000 円補助、30,000 円助成、全額負担 30 歳以上の希望者は、自己負担割合が 4 割、6 割が会社負担 40 歳・45 歳へは全額会社負担、50 歳以上は隔年で全額会社負担 対象は 50 歳以上、または 45 歳以上で喫煙歴がある者。 プリンクマン指数により本人負担額(無料～5,000 円)を変えている 右記以外の 30 歳以上の希望者は会社 6 割負担で受診可 55 歳男性を対象に全額負担 35 歳以上を対象に全額負担
婦人科健診	婦人科(マンモグラフィー、超音波、子宮頸がん検査) 会社負担あり 44.4% 会社負担なし 11.1 不明 55.6%	<ul style="list-style-type: none"> マンモグラフィー 超音波 子宮頸がん検査 	<ul style="list-style-type: none"> 1 検査 3,000 円助成、実施者一人 3,000 円補助 市町実施の子宮頸がん受診者へは全額会社負担 マンモグラフィーは 35 歳以上の希望者に全額会社負担 32 歳以上受診者は全額会社負担 健診料金と健保補助金の差額を全額会社負担 対象年齢の受診者は全額会社負担